

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第3777827号
(P3777827)

(45) 発行日 平成18年5月24日(2006.5.24)

(24) 登録日 平成18年3月10日(2006.3.10)

(51) Int. Cl. F I
B6OR 1/06 (2006.01) B6OR 1/06 D

請求項の数 2 (全 6 頁)

(21) 出願番号	特願平10-279119	(73) 特許権者	000000136
(22) 出願日	平成10年9月30日(1998.9.30)		市光工業株式会社
(65) 公開番号	特開2000-108784(P2000-108784A)		東京都品川区東五反田5丁目10番18号
(43) 公開日	平成12年4月18日(2000.4.18)	(74) 代理人	100083806
審査請求日	平成15年2月26日(2003.2.26)		弁理士 三好 秀和
		(74) 代理人	100100712
			弁理士 岩▲崎▼ 幸邦
		(74) 代理人	100087365
			弁理士 栗原 彰
		(74) 代理人	100100929
			弁理士 川又 澄雄
		(74) 代理人	100095500
			弁理士 伊藤 正和
		(74) 代理人	100101247
			弁理士 高橋 俊一

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 自動車用アウトミラー

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

ドアのアウトパネルに支持されるベースと、該ベースに垂直方向からピボット軸を介して支持されるミラーハウジングと、該ミラーハウジングの表面開口に支持されるミラー本体とよりなるアウトミラーであって、

前記ベースは、前記アウトパネルの面に対して略面直方向より締結具を用いて支持される固定部と、該固定部を支持する締結具の締結位置とは異なる位置であり且つ前記アウトパネルの面に対し斜め方向より第2締結具を用いて支持されるハウジング支持部と、前記固定部及びハウジング支持部を覆うカバー部とが一体に形成されてなることを特徴とする自動車用アウトミラー。

【請求項2】

請求項1記載の自動車用アウトミラーであって、

前記カバー部には、前記ドアのアウトパネルに係合される爪部が配設されてなることを特徴とする自動車用アウトミラー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、自動車用アウトミラーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来のアウトミラー 1 は、図 7 に示すように、自動車のドアのアウトパネル 2 に取付けられている。このアウトミラー 2 は、ドアのアウトパネル 2 の裏面に支持されてなるナット 5 に、該アウトパネル 2 の面直方向から差し込むビス 4 が螺合することで支持されるベース 3 と、該ベース 3 に垂直方向からピボット軸（図示省略）を介在してビス 8 により支持されるカップ型のミラーハウジング 6 と、該ミラーハウジング 6 の表面開口に支持されるミラー本体 11 とよりなる。前記ベース 3 は、前記ドアのアウトパネル 2 に支持された後に、合成樹脂製のカバー 9 により覆い隠されている。符号 10 は、前記カバー 9 の端部に嵌合されて前記ドアのアウトパネル 2 の面に接するパッキングである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このような従来の技術にあっては、ベース 3 をドアのアウトパネル 2 に面直に取付けねばならず、該取付のためのビス 4 やベース 3 を隠すために、カバー 9 を後取付けする必要がある。つまり、こうして、カバー 9 を取付けるという二段階の取付け手段が必要であり、自動車の組立ラインでの工数が嵩張り、改善が求められている。

【0004】

また、前記カバー 9 を取付けるときは、該カバー 9 自体を撓ませて嵌合させる必要があり、このことは、言い換えると、取付いた状態で撓ませれば、ベース 3 からカバー 9 が外れることになる。カバー 9 を外すと、ベース 3 が露出するので、容易にドアのアウトパネル 2 からアウトミラー 1 を離脱できることになってしまい、防盜性の点から改善が求められている。

【0005】

更に、カバー 9 とベース 3 とを必要とするので、部品点数が多くなり、管理工数が著しく必要とするばかりか、カバー 9 がそれ以外の部品の組立体と別に納入して、自動車の組立ラインで組み立てるものであるため、この点でも管理工数及び組立工数が著しく多く必要になり、改善が求められている。

【0006】

この発明は、このような従来の技術に着目したものであって、アウトミラーの取付け性の向上、防盜性の向上、そして管理工数の低減を目的とした自動車用アウトミラーを提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 記載の発明は、ドアのアウトパネルに支持されるベースと、該ベースに垂直方向からピボット軸を介在して支持されるミラーハウジングと、該ミラーハウジングの表面開口に支持されるミラー本体とよりなるアウトミラーであって、前記ベースは、前記アウトパネルの面に対して略面直方向より締結具を用いて支持される固定部と、該固定部を支持する締結具の締結位置とは異なる位置であり且つ前記アウトパネルの面に対し斜め方向より第 2 締結具を用いて支持されるハウジング支持部と、前記固定部及びハウジング支持部を覆うカバー部とが一体に形成されてなる。

【0008】

請求項 1 記載の発明によれば、前記アウトパネルの面に対して略面直方向より締結具を用いて支持される固定部に対して、前記締結具の締結位置とは異なる位置であり且つ前記アウトパネルの面に対してハウジング支持部が第 2 締結具を用いて斜め方向より支持されてなるので、固定部とハウジング支持部とのどちらか一方を先にドアのアウトパネルに取付けても、他方の取付けは可能であるので、アウトミラーの取付け性が向上する。また、カバー部が、固定部及びハウジング支持部を覆う形状に一体に形成されてなるので、アウトミラーを盗むために、従来のようにカバーを撓ませても取付け部が露出しないから、防盜性に優れたものであり、管理工数が著しく低減できる。

【0009】

請求項 2 記載の発明は、前記カバー部には、前記ドアのアウトパネルに係合される爪部が配設されてなる。

10

20

30

40

50

【 0 0 1 0 】

請求項 2 記載の発明によれば、前記爪部をドアのアウトパネルに係合させることで、仮止めが可能となる。

【 0 0 1 1 】

【 発明の実施の形態 】

以下、この発明の好適な実施形態を図面に基づいて説明する。

【 0 0 1 2 】

図 1 ~ 図 6 は、この発明の一実施形態を示す図である。この実施形態の自動車用アウトミラー 2 1 は、自動車のドアのアウトパネル 2 に支持されるベース 2 2 と、該ベース 2 2 に垂直方向からピボット軸を介在して支持されるミラーハウジング 6 と、該ミラーハウジン 10
グ 6 の表面開口に支持されるミラー本体 1 1 とよりなる。

【 0 0 1 3 】

前記ベース 2 2 は、前記アウトパネル 2 の面に対して略面直方向よりビス 4 により支持される固定部 2 3 と、前記ミラーハウジング 6 に対して斜め方向より支持されるハウジング支持部 2 4 と、前記固定部 2 3 及びハウジング支持部 2 4 を覆うカバー部 2 5 とが一体に形成されてなる。

【 0 0 1 4 】

前記固定部 2 3 は、前記アウトパネル 2 の表面に対して、図 5 に示すように、略面直方向より挿入されるボス 2 6 と、該ボス 2 6 内に配設されたナット部 2 7 とよりなる。該ボス 2 6 の自由端部が、前記アウトパネル 2 の裏面に支持されてなるレインフォース 2 8 に 20
当接して、締結具であるビス 4 が前記ナット部 2 7 に螺合される。符号 2 9 は、ベース 2 2 より突設されたリブで、該リブ 2 9 の自由端部が、前記パッキング 1 0 を介してアウトパネル 2 に当接する。

【 0 0 1 5 】

前記ハウジング支持部 2 4 は、アウトパネル 2 に形成した貫通穴 3 0 に対向する位置に、第 2 締結具であるビス 8 の締結用の工具が挿入可能なるように斜め方向に形成されてなる。

【 0 0 1 6 】

そして、前記カバー部 2 5 には、図 6 に示すように、前記ドアのアウトパネル 2 に係合される爪部 3 1 が配設されてなる。該爪部 3 1 は、前記カバー部 2 5 の裏面に形成されたボ 30
ス 3 2 にビス 3 3 により支持されてなる。

【 0 0 1 7 】

前記パッキング 1 0 は、前記カバー部 2 5 の端部 2 5 a に対して表面側に、1.5 ミリの高さの第 1 堤部 1 0 a が形成され、裏面側に、0.5 ミリの高さの第 2 堤部 1 0 b が形成されている。

【 0 0 1 8 】

この実施形態によれば、固定部 2 3 に対してハウジング支持部 2 4 が斜め方向より支持されてなるので、固定部 2 3 とハウジング支持部 2 4 とのどちらか一方を先にドアのアウトパネル 2 に取付けても、他方の取付けは可能であるので、アウトミラー 1 の取付け性が向 40
上する。

【 0 0 1 9 】

また、カバー部 2 5 が、固定部 2 3 及びハウジング支持部 2 4 を覆う形状に一体に形成されてなるので、アウトミラー 1 を盗むために、従来のようにカバー 9 を撓ませても取付部であるハウジング支持部 2 4 が露出しないから、防盜性に優れたものであり、管理工数が著しく低減できる。

【 0 0 2 0 】

また、前記爪部 3 1 をドアのアウトパネル 2 に係合させることで、手を離しても落ちないように、仮止めが可能となる。

【 0 0 2 1 】

【 発明の効果 】

請求項 1 記載の発明によれば、前記アウトパネルの面に対して略面直方向より締結具を用いて支持される固定部に対して、前記締結具の締結位置とは異なる位置であり且つ前記アウトパネルの面に対してハウジング支持部が第 2 締結具を用いて斜め方向より支持されてなるので、固定部とハウジング支持部とのどちらか一方を先にドアのアウトパネルに取付けても、他方の取付けは可能であるので、アウトミラーの取付け性が向上する。また、カバー部が、固定部及びハウジング支持部を覆う形状に一体に形成されてなるので、アウトミラーを盗むために、従来のようにカバーを撓ませても取付け部が露出しないから、防盜性に優れたものであり、管理工数が著しく低減できる。

【 0 0 2 2 】

請求項 2 記載の発明によれば、前記爪部をドアのアウトパネルに係合させることで、仮止めが可能となる。 10

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 この発明の実施形態に係るアウトミラーを示す正面図。

【 図 2 】 図 1 の矢視 A にかかる上面図。

【 図 3 】 図 1 の矢視 B にかかる背面図。

【 図 4 】 図 1 の C 部を示す拡大断面図。

【 図 5 】 図 3 の S D - S D 線に沿う断面図。

【 図 6 】 図 3 の S E - S E 線に沿う断面図。

【 図 7 】 従来例のアウトミラーを示す正面図。

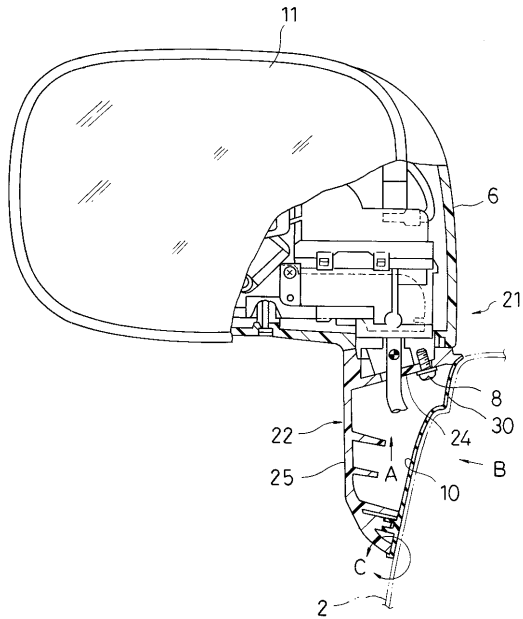
【 符号の説明 】

- 1、 2 1 アウトミラー
- 2 自動車のドアのアウトパネル
- 3、 2 2 ベース
- 6 ミラーハウジング
- 9 カバー
- 1 0 バッキング
- 1 1 ミラー本体
- 2 3 固定部
- 2 4 ハウジング支持部
- 2 5 カバー部
- 2 6 ボス
- 2 7 ナット部
- 2 8 レインフォース
- 3 1 爪部

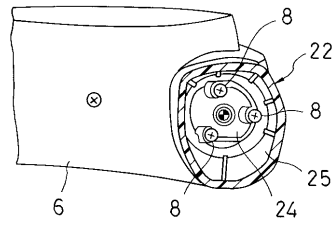
20

30

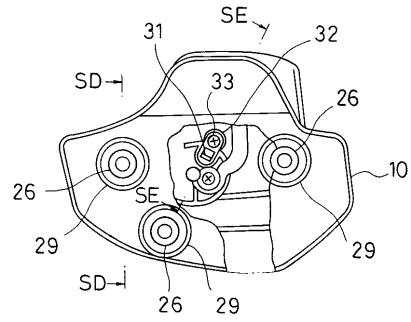
【 図 1 】



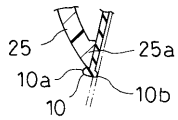
【 図 2 】



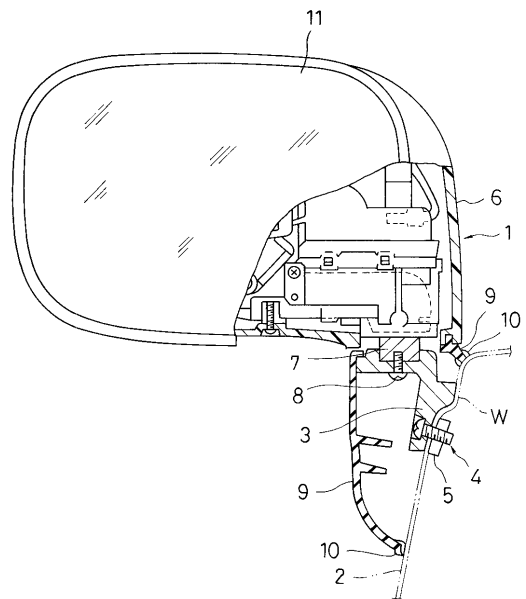
【 図 3 】



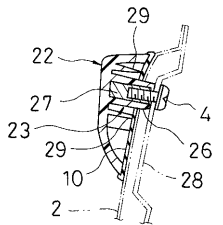
【 図 4 】



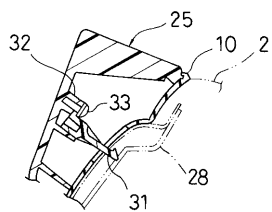
【 図 7 】



【 図 5 】



【 図 6 】



フロントページの続き

(74)代理人 100098327

弁理士 高松 俊雄

(72)発明者 長谷川 雄一

神奈川県伊勢原市板戸80番地 市光工業株式会社 伊勢原製造所内

審査官 川向 和実

(56)参考文献 実開平06-025035(JP,U)

実開昭49-011799(JP,U)

実開平06-025038(JP,U)

特開平08-142753(JP,A)

実開平06-044643(JP,U)

実開平02-049748(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B60R 1/06